



湖月抄

子海  
十五





紅梅

細卷名詞号之詞

のさうらうと紅梅とあり自ら

乃卷の并乃一也或伝竹川と一傳并とせりそ故に世  
 幼少の時より多世の事ありわらふよりて也されども紅梅竹  
 川と流ありてり多世とて此卷の並とせんりり但後  
 乃并ともりアセナとせり何此卷の別とて梅系と納  
 傳デとんくよりり竹川と并の一二とも定ごうて蓋中  
 將竹川ふん始田位侍従中央宰相終中納言也此  
 卷よりり始より源中納言とあり此の竹川乃源とん  
 ゆり此の竹川の事と梅系と納言とんは此の  
 又梅系と納言とよりり而詮此卷の竹川の中よりん  
 一三五日三又日三西詮此の事よりり年紀の紀明入キウメイべ  
 らむ此の事ハ紅梅の事乃傳竹川と竹川の事乃











母君がくくうらへまり  
まふと後の由もつれく  
なりしとわ

くくうらへまりや 田  
の長月をくくうらへまり  
づりともつれくうらへまり

くくうらへまりや  
まふと後の由もつれく  
なりしとわ  
田  
の長月をくくうらへまり  
づりともつれくうらへまり

くくうらへまりや  
まふと後の由もつれく  
なりしとわ  
田  
の長月をくくうらへまり  
づりともつれくうらへまり

の四方南の四方 二のよちかひく  
はひのくくうらへまり  
うらへまり 結末のひめ  
くくうらへまり

くくうらへまりや  
まふと後の由もつれく  
なりしとわ  
田  
の長月をくくうらへまり  
づりともつれくうらへまり

くくうらへまりや  
まふと後の由もつれく  
なりしとわ  
田  
の長月をくくうらへまり  
づりともつれくうらへまり

らんぐせのやうやうわら  
 孟母のゆかりのま  
 うーゆーゆーゆー  
 めーゆーゆーゆーゆー  
 細梅の枝はまたも  
 めーゆーゆーゆー  
 めーゆーゆーゆー

わらわらわらわらわらわらわらわら  
 めーゆーゆーゆーゆーゆーゆーゆー  
 めーゆーゆーゆーゆーゆーゆーゆー  
 めーゆーゆーゆーゆーゆーゆーゆー  
 めーゆーゆーゆーゆーゆーゆーゆー  
 めーゆーゆーゆーゆーゆーゆーゆー  
 めーゆーゆーゆーゆーゆーゆーゆー  
 めーゆーゆーゆーゆーゆーゆーゆー  
 めーゆーゆーゆーゆーゆーゆーゆー

ふらふらのうら  
 細梅の枝はまたも  
 めーゆーゆーゆー  
 めーゆーゆーゆー  
 めーゆーゆーゆー  
 めーゆーゆーゆー  
 めーゆーゆーゆー  
 めーゆーゆーゆー  
 めーゆーゆーゆー

三紅梅の身なきのうら  
 めーゆーゆーゆーゆーゆーゆーゆー  
 めーゆーゆーゆーゆーゆーゆーゆー  
 めーゆーゆーゆーゆーゆーゆーゆー  
 めーゆーゆーゆーゆーゆーゆーゆー  
 めーゆーゆーゆーゆーゆーゆーゆー  
 めーゆーゆーゆーゆーゆーゆーゆー  
 めーゆーゆーゆーゆーゆーゆーゆー  
 めーゆーゆーゆーゆーゆーゆーゆー



けしき... 源中約云 如董の暴を  
 中約云のり... 梅はもた...  
 ... 推本の中...

せしめ... 紅梅の... 孟...  
 ... 梅...

わらわ... 三 琵琶...  
 ... 女...

びら... 孟... 孟...  
 ... 梅...







そればかりでござらぬ  
されどやまじきこと  
我をばけりしとて  
あつくみせられどわ  
さしものらん  
あひまひひてんや 糸の芳  
よもぎの由女我もまされ  
おんまひんやとまり  
うらましの後さう  
うらましの師 罪三行書真恨  
ての故えん人のとりあ  
はむ竹れまゝふえ紅梅  
とりあの奇とまゝ  
られらまゝうらましの  
のらまゝを曲さるらん  
とあまふらんやとまり  
うらましの  
そのよありて 罪園よ白  
つらぬく 細梅と伴  
のささり 紅梅と白  
ひさしくさるらんあり  
け枝いさきもあも具  
うらましの  
まよられて 紅のまよ

うらましのまよ  
あまふらんやとまり  
うらましの師 罪三行書真恨  
ての故えん人のとりあ  
はむ竹れまゝふえ紅梅  
とりあの奇とまゝ  
られらまゝうらましの  
のらまゝを曲さるらん  
とあまふらんやとまり  
うらましの  
そのよありて 罪園よ白  
つらぬく 細梅と伴  
のささり 紅梅と白  
ひさしくさるらんあり  
け枝いさきもあも具  
うらましの  
まよられて 紅のまよ

うらましのまよ  
あまふらんやとまり  
うらましの師 罪三行書真恨  
ての故えん人のとりあ  
はむ竹れまゝふえ紅梅  
とりあの奇とまゝ  
られらまゝうらましの  
のらまゝを曲さるらん  
とあまふらんやとまり  
うらましの  
そのよありて 罪園よ白  
つらぬく 細梅と伴  
のささり 紅梅と白  
ひさしくさるらんあり  
け枝いさきもあも具  
うらましの  
まよられて 紅のまよ

うらましのまよ  
あまふらんやとまり  
うらましの師 罪三行書真恨  
ての故えん人のとりあ  
はむ竹れまゝふえ紅梅  
とりあの奇とまゝ  
られらまゝうらましの  
のらまゝを曲さるらん  
とあまふらんやとまり  
うらましの  
そのよありて 罪園よ白  
つらぬく 細梅と伴  
のささり 紅梅と白  
ひさしくさるらんあり  
け枝いさきもあも具  
うらましの  
まよられて 紅のまよ



しらもの いらのきし

細白矢八天梅の白ひの  
みんましうはせぬ梅  
と白とすすべしと  
花中志とすくふさ地  
し仰文の所在方早下  
のうたれハ押をくく  
まかひ美しうけりあうこ  
まわりと梅の花づく白ひ  
のそりぬらハ五衛集

花の香と 細ももに  
りひやまり 三花のわ  
よりかぬぬやれれど  
と人のとらぬやわあう  
めしとびひをとどが  
やそのまひのさうし

しらもの いらのきし  
みんましうはせぬ梅  
と白とすすべしと  
花中志とすくふさ地  
し仰文の所在方早下  
のうたれハ押をくく  
まかひ美しうけりあうこ  
まわりと梅の花づく白ひ  
のそりぬらハ五衛集

しらもの いらのきし  
みんましうはせぬ梅  
と白とすすべしと  
花中志とすくふさ地  
し仰文の所在方早下  
のうたれハ押をくく  
まかひ美しうけりあうこ  
まわりと梅の花づく白ひ  
のそりぬらハ五衛集

しらもの いらのきし  
みんましうはせぬ梅  
と白とすすべしと  
花中志とすくふさ地  
し仰文の所在方早下  
のうたれハ押をくく  
まかひ美しうけりあうこ  
まわりと梅の花づく白ひ  
のそりぬらハ五衛集

しらもの いらのきし  
みんましうはせぬ梅  
と白とすすべしと  
花中志とすくふさ地  
し仰文の所在方早下  
のうたれハ押をくく  
まかひ美しうけりあうこ  
まわりと梅の花づく白ひ  
のそりぬらハ五衛集

しらもの いらのきし

細ももに 三花のわ  
よりかぬぬやれれど  
と人のとらぬやわあう  
めしとびひをとどが  
やそのまひのさうし

しらもの いらのきし  
みんましうはせぬ梅  
と白とすすべしと  
花中志とすくふさ地  
し仰文の所在方早下  
のうたれハ押をくく  
まかひ美しうけりあうこ  
まわりと梅の花づく白ひ  
のそりぬらハ五衛集

しらもの いらのきし  
みんましうはせぬ梅  
と白とすすべしと  
花中志とすくふさ地  
し仰文の所在方早下  
のうたれハ押をくく  
まかひ美しうけりあうこ  
まわりと梅の花づく白ひ  
のそりぬらハ五衛集

しらもの いらのきし  
みんましうはせぬ梅  
と白とすすべしと  
花中志とすくふさ地  
し仰文の所在方早下  
のうたれハ押をくく  
まかひ美しうけりあうこ  
まわりと梅の花づく白ひ  
のそりぬらハ五衛集

しらもの いらのきし  
みんましうはせぬ梅  
と白とすすべしと  
花中志とすくふさ地  
し仰文の所在方早下  
のうたれハ押をくく  
まかひ美しうけりあうこ  
まわりと梅の花づく白ひ  
のそりぬらハ五衛集

しらもの いらのきし  
みんましうはせぬ梅  
と白とすすべしと  
花中志とすくふさ地  
し仰文の所在方早下  
のうたれハ押をくく  
まかひ美しうけりあうこ  
まわりと梅の花づく白ひ  
のそりぬらハ五衛集

しらもの いらのきし  
みんましうはせぬ梅  
と白とすすべしと  
花中志とすくふさ地  
し仰文の所在方早下  
のうたれハ押をくく  
まかひ美しうけりあうこ  
まわりと梅の花づく白ひ  
のそりぬらハ五衛集

しらもの いらのきし

細ももに 三花のわ  
よりかぬぬやれれど  
と人のとらぬやわあう  
めしとびひをとどが  
やそのまひのさうし

しらもの いらのきし  
みんましうはせぬ梅  
と白とすすべしと  
花中志とすくふさ地  
し仰文の所在方早下  
のうたれハ押をくく  
まかひ美しうけりあうこ  
まわりと梅の花づく白ひ  
のそりぬらハ五衛集

しらもの いらのきし  
みんましうはせぬ梅  
と白とすすべしと  
花中志とすくふさ地  
し仰文の所在方早下  
のうたれハ押をくく  
まかひ美しうけりあうこ  
まわりと梅の花づく白ひ  
のそりぬらハ五衛集





かりそへ白文のすけ  
しゆりてあり  
このけりしゆりてあり  
し白のけりしゆりてあり  
ね木のけりしゆりてあり  
ちよりのけりてあり  
しゆりてあり

ハのまのひりて 細字  
の中まのひりてあり  
のまのひりてあり  
まのひりてあり  
まのひりてあり

まのひりてあり  
まのひりてあり  
まのひりてあり  
まのひりてあり  
まのひりてあり

ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり  
ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり  
ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり  
ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり

ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり  
ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり  
ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり  
ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり

ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり  
ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり  
ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり  
ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり

ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり  
ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり  
ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり  
ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり

ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり  
ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり  
ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり  
ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり

ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり  
ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり  
ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり  
ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり

ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり  
ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり  
ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり  
ねのけりしゆりてあり  
しゆりてあり

